

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	国際教育学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年	学 期	後期	教室名	803
担 当 教 員	小松真奈美				
実務経験とその関連資格	看護師として、大学病院で3年間勤務。その後、英会話学校、医学、看護系大学及び専門学校で、医学、看護、福祉英語を担当。大阪府内の病院の国際外来で医療通訳として、外国人医療に携わる。国際臨床医学学会会員。ICM認定医療通訳士(英語)				
《授業科目における学習内容》					
Listening Speaking Vocabulary Reading をバランスよく授業に取り入れます。 医療現場で遭遇する様々な場面を通して、必要な英語の医学用語、フレーズを学習します。 ペアワークなどで英語を聞き、話すということに慣れ、将来的に国際的に活躍できる医療従事者を目指します。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験60%、実技試験20%、小テスト20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:Medical English Communication 医療英語コミュニケーション(国際教育社)					
《授業外における学習方法》					
訪日外国人の増加に伴い、外国人が医療現場で診察場面も増えてきました。日本人患者さんと同じ医療を受けられるように、医療スタッフが日本語以外の言語で対応できるように、異文化への理解を深め、リハビリテーション英語のコミュニケーション能力及び医療英語を身につけましょう。また、将来的には英語で国際学会でのプレゼンや海外で活躍できる医療従事者になるのも夢ではありません。					
《履修に当たっての留意点》					
苦手意識のある方もいるかもしれませんが、まずは楽しく英語に慣れていくことが必要かと思います。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	聞き取れなかった時の表現が使える。	教科書:医療英語コミュニケーション	特になし	
	各コマにおける授業予定	聞き取れなかった時の表現・初診時の対応			
第2回	授業を通じての到達目標	症状(痛み)の表現・体の外部の名称が英語で言えるようになる。	教科書:医療英語コミュニケーション	特になし	
	各コマにおける授業予定	Chapter 3 症状(痛み)			
第3回	授業を通じての到達目標	痛みの表現以外の症状が英語で言えるようになる。	教科書:医療英語コミュニケーション	(復習課題)小テスト	
	各コマにおける授業予定	Chapter 4 症状《その他》			
第4回	授業を通じての到達目標	骨・関節関連の英語表現が出来るようになる	教科書:医療英語コミュニケーション	(復習課題)小テスト	
	各コマにおける授業予定	Chapter 12 整形外科・骨の名前			
第5回	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの検査が英語で出来るようになる。関節可動域関連の表現が英語で言える。	教科書:医療英語コミュニケーション	(復習課題)小テスト	
	各コマにおける授業予定	Chapter 14 リハビリテーション(2)筋肉の名前			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	歩行訓練指導が英語で出来る。筋肉の名称が英語で言える。	教科書:医療英語コミュニケーション	(復習課題)小テスト
	各コマにおける授業予定	ロールプレイ準備 (スキット作成)		
第7回	授業を通じての到達目標	医療場面でのロールプレイを英語で出来る	教科書:医療英語コミュニケーション	ロールプレイ原稿の完成
	各コマにおける授業予定	ロールプレイ(本番)		
第8回	授業を通じての到達目標	これまで習った単語・フレーズが英語で表現できる	教科書:医療英語コミュニケーション	特になし
	各コマにおける授業予定	これまでの授業の総復習・関節可動域・臓器の名称		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			